

夫婦の絆を深めるきっかけともなっています。

「好きこそものの上手なれ」っていうのはウソじゃないねとは、妻の言葉。最近では、完成したプラモデルを譲ってほしい、製作してほしいというお声も頂くようになりました。プラモデルをきっかけに、私の地元に飲みに来てくれるという方もあらわれ、老後の仕事はこれかなとか、妻と一緒にプラモデルを通じた地域貢献への一歩を踏み出しているのかなと感じています。

実は、妻の実家はプラスチック塗装会社を営んでいます。そこで、夫婦で「プラモデル事業を行いたい！」という夢があります。まだ構想段階ですが、たとえば地域の子どもたちを対象にプラモデルを作るワークショップを開催したり、実際にプラスチックの加工や塗装を体験してもらったり……。私が子どもころに“ものづくり”の現場を見て抱いたワクワクした気持ちを、地域の子どもたちにも持ってもらいたい！ 趣味を通じて、そんな夢を実現することができたらうれしいですね。

これからもこの趣味を大切に、自分の世界に没頭しつつ、バランスの取れた生活を送りたい、そして、必ず迎えるセカンドライフに向けて、プラモデルが私に与えてくれていることを、皆さまと共有できたらいいなと思っています。

最近、経営者の方と従業員のセカンドライフ、ワークライフバランスといったことを考える機会がありました。その際に、自分自身のセカンドライフ、ワークライフバランスと照らし合わせながら、どうしたらいいのかという提案もできたと感じました。

特に中小企業の経営者の中には、リフレッシュする時間を持たず、仕事中心の生活を送る方も多いでしょう。～のために、～しなければならない、と目の前のことに追われる日々かもしれませんが、今後「すべてをそこに捧げなくても大丈夫ですよ」といった言葉をかけてゆけたらと思っています。

(行政書士 藤森 純一)



藤森氏の事務
所 HP はコチ
ラから→→



さらに詳しい
記事が読める
ハマ街ビトHP
番外編はコチ
ラから→→

